

(領域横断事例演習の学生の学び) に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年11月21日～2022年3月31日

〔研究課題〕 在宅看護学と成人慢性期看護学領域による領域横断事例演習による学生の学び
-地域包括ケア時代に即したシミュレーション教育の試み-

〔研究目的〕 在宅看護援助論と成人看護援助論Ⅱ(慢性期)の領域横断事例演習を通して、最終日のアンケートの記述から、学生がどのような学びをしたのかについて、明らかにすることを本研究の目的としています。

〔研究意義〕 事例患者の展開に合わせ、学生とともに教員も領域を横断した授業展開が、次世代の地域包括ケアに必要な看護教育指導方法の構築につながるのではないかと考えています。

〔対象・研究方法〕

2019年度在宅看護援助論と成人看護援助論Ⅱ(慢性期)の領域横断事例演習に取り組んだ、本学医療技術学部看護学科3年生142名が、領域横断事例演習最終日(2019年7月2日)に記述したアンケートの記述内容を研究対象とします。

〔研究機関名〕 帝京大学医療技術学部 看護学科 単独で行う研究です。
角田こずえ 帝京大学医療技術学部 看護学科 講師 (研究責任者)

〔個人情報の取り扱い〕

本研究で取り扱うデータ・情報は、匿名化したうえで研究に使用します。データ・情報は、研究責任者がデータ管理者の研究室で電子ファイルに記録・保存し、施錠できる場所で厳重に管理します。データ・情報を含む電子ファイルは本研究終了を報告した日から10年を経過した日、又は本研究結果の最終公表について報告した日から10年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保管します。本研究で取り扱うデータ・情報は、本研究目的にのみ用い、他の研究・研究機関への提供はしません。研究参加の有無は、在宅看護援助論と成人看護援助論Ⅱ(慢性期)の成績評価とは無関係です。対象となるかたで、ご自身の結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合は、(承認日から6週間後の日付)までに研究責任者にご連絡下さい。研究の分析方法により、研究参加の辞退を申し出る期間を設ける必要があり、4週間以上が推奨されていることから、辞退を申し出る期間を6週間に設定しています。研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 角田 こずえ(講師)

研究分担者： 南川雅子(教授)、遠藤寛子(准教授)、在間絹苗(助教)、前田直宏(助手)、
鈴木良香(助手)

所属： 帝京大学医療技術学部 看護学科

住所： 〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表) [内線 44516]